

令和六年度 奈良金春会演能会

令和六年六月二十三日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール

奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四二)二七一六三〇(代)



能実盛

仕舞

氷 三 錦

室 輪 木
クセ

中田能光
田中直樹
酒井賢一

シテ(前老) 齋藤別当実盛の靈
ワキ(他阿弥上人)
ワキツレ(從僧) 原大
ワキツレ(從僧) 原陸

ア(所) 佐々木奏太
ア(所) 茂山逸平
小鼓 荒木建三
大鼓 守家由訓
太鼓 上田悟

〓 休 憩 二十分 〓

狂言 盆 山

仕舞

清 杜 是

經 若 界
キリ キリ

シテ(男) 茂山宗彦
ア(何) 某 茂山千之丞

辻井八郎
金春嘉織
高橋忍

能鍾馗

仕舞

是

シ

テ(前里) 鍾馗大臣の靈
ワキ(旅) 人
ア(所) 者

金春憲和
原春陸

シ 井口竜也
ワキ(旅) 赤井要佑
ア(所) 荒木建作
小鼓 山本寿弥
大鼓 上田慎也
太鼓

実 盛 (さねもり)

解 説 中 司 由起子

加賀の国篠原(石川県)の里の男(アイ)が、他阿弥上人(ワキ)のもとへ向かう。男は、上人が念仏の時に独り言を言う訳を尋ねることにする。上人と供の僧(ワキツレ)が説法をおこなっていると、老人(前シテ)が聴聞に来るが、老人の姿は上人以外の人には見えない。里の男が独り言の訳を尋ね、実盛の物語と明かして、池のほとりへ消え失せる。里の男が老武者姿で現れる。霊は、討死した実盛の首を池の水で洗うと、鬢髭を染めた墨が流れ白髪に戻ったこと、実盛が錦の直垂で出陣をしたことを物語る。続いて、手塚太郎光盛に討たれた最期の有り様を見せ、さらなる供養を願う。

老武者の心意気と悲哀を描いた修羅能です。実盛の幽霊が出現したという巷説をもとに作られたとされます。世阿弥作。

鍾 廬 (しようき)

中国の終南山の麓に住む男(ワキ)が、皇帝に意見を申し上げるために都へ向かう途中、怪しい雰囲気(前シテ)と出会う。男は、悪鬼を滅ぼし国土を守護するという誓いを皇帝に伝えてほしいと頼む。問われるままに自らは鍾廬であると名乗り、進士の試験に落第して自殺したが、今はその執心を捨てて善をなすと言って姿を消す。山の下に住む男(アイ)が鍾廬の物語を語り、旅の男は鍾廬の供養をする。やがて鍾廬の神霊(後シテ)が宝剑を手に現れ、悪鬼を切り払う。

世の無常を静かに語るクセと、後半の剣を振る豪壮な鍾廬の様子が見どころです。鍾廬は、病魔を追い払った故事で知られる神であることから、日本でも、魔除けとして像が屋根等に飾られたり、端午の節句のモチーフになったりしています。

次回予告

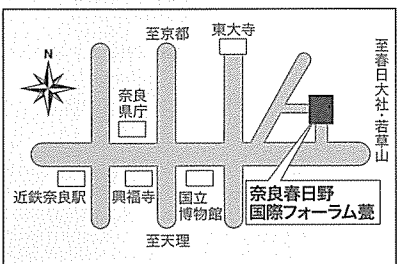
七月二十一日(日) 連合謡曲仕舞会
 十月二十日(日) 午後十二時半

能 井 筒 高 橋 忍
 能 野 守 金 春 嘉 織

四枚綴回数券

二〇、〇〇〇円
 一般一回券
 七、〇〇〇円
 学生一回券
 三、五〇〇円

鑑賞券は、奈良春日野国際フォーラムでも取り扱います。



奈良春日野国際フォーラム 能楽ホール
 電話(〇七四二)二七二六三〇(代)
 ・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環「大仏前」下車 東へすぐ
 ・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良市教育委員会
 後援 奈良県 奈良市 金春 満井 会
 (公社)金春 円満 井会
 お問合せ 電話 (〇七四二)三三一九七二〇 金春

- 特別に許可された人以外の 写真撮影・録画・録音は お断りします。
- 携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など 他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。
- 奈良春日野国際フォーラムの駐車場は、現在一般の方の車の受け入れをしております。
- 車でお越しの方は、他所に駐車場をお求めいただくこととなります。
- 満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。
- 都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

●新型コロナウイルス感染症対策として

- マスクの着用は、ご来場されたお客様の任意といたしますが、場内での会話はお控えください。
- また、アルコール消毒については、今まで通りお願いいたします。
- 入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。
- 会場の定員は五〇〇名ですが、座席数に制限をかける場合があります。